

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

## 【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

- 1 山田さんは、「カニ」について調べて分かったことを発表しました。発表する内容と発表のときに使用した資料を読んで次の問いに答えましょう。

レベル5

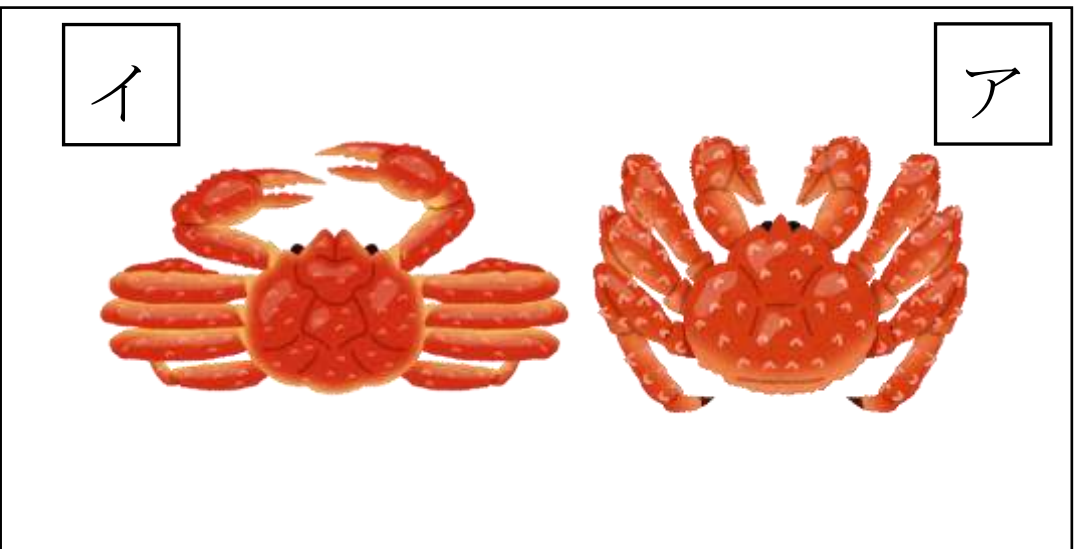
### 【山田さんが発表する内容】

わたしは、海の生き物が好きです。そこで、カニについて調べてみると、おもしろいことが分かったので発表します。

カニのなかまには、十本のあしがあります。腹部は短く、こうらの下におりたたまれているのがとくちょうです。ズワイガニは、食用として広く知られているので、食べたことがある人もいます。かもしれません。タラバガニもよく食べられています。けれども、タラバガニは、カニのなかまではありません。タラバガニはカニのような姿ですが、実はヤドカリのなかまです。よく見ると、タラバガニは見えているあしの数が八本しかないのです。

わたしは、ズワイガニもタラバガニも、同じカニのなかまだと思っていましたが、タラバガニはヤドカリのなかまだと知っておどろきました。今度、水族館へ行って、タラバガニの見えているあしの数をたしかめてみたいです。

### 【発表のときに使用した資料】



(1) タラバガニの絵は、アとイのどちらでしょう。

（2）山田さんの発表内容はどのような組み立てでできていますか。当てはまるものの番号をえらびましょう。

レベル7

- 1 はじめに、聞いているみんなに問いかけてから話しはじめています。
- 2 はじめに、説明せつめいしたい物について言ってから話しはじめています。
- 3 理由を説明せつめいしてから話しはじめています。
- 4 水族館へ行く前に調べたことと、行ったあとにわかったことを分けて書いている。



# 復習シート 第四学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

- 1 山田さんは、「カニ」について調べて分かったことを発表しました。発表する内容と発表のときに使用した資料を読んで次の問いに答えましょう。

レベル5

【山田さんが発表する内容】

わたしは、海の生き物が好きです。そこで、カニについて調べてみると、おもしろいことが分かったので発表します。

【発表のときに使用した資料】

カニのなかまには、十本のあしがあります。腹部は短く、こうらの下におりたたまれているのとくちょうです。ズワイガニは、食用として広く知られているので、食べたことがある人もいます。かもしれませんが。タラバガニもよく食べられています。けれども、タラバガニは、カニのなかまではありません。タラバガニはカニのような姿ですが、実はヤドカリのなかまです。よく見ると、タラバガニは見えているあしの数が八本しかないのです。

わたしは、ズワイガニもタラバガニも、同じカニのなかまだと思っていましたが、タラバガニはヤドカリのなかまだと知っておどろきました。今度、水族館へ行って、タラバガニの見えているあしの数をたしかめてみたいです。

（1）タラバガニの絵は、アとイのどちらでしょう。

ア



イ



ア

「中」の部分に書かれている、ズワイガニとタラバガニのあしの数のちがいをくわしく読みましょう。

(2) 山田さんの発表内容はどのような組み合わせでできていますか。当てはまるものの番号をえらびましょう。

レベル7

- 1 はじめに、聞いているみんなに問いかけてから話しはじめています。
- 2 はじめに、説明したい物について言うてから話しはじめています。
- 3 理由を説明してから話しはじめています。
- 4 水族館へ行く前に調べたことと、行ったあとにわかったことを分けて書いている。

2

「はじめ」の部分にはどんなことが書かれているか、くわしく読んでみましょう。









〈バスの解答例〉

	で	か		き	
	行	る	な	ま	わ
	け	け	ぜ	す	た
	る	れ	な	。	し
	か	ど	ら		は
	ら	、	、		、
	で	短	お		バ
	す	い	金		ス
	。	時	は		で
		間	か		行

〈自転車の解答例〉

	気	転		行	
	持	車	な	き	わ
	ち	で	ぜ	ま	た
	が	下	な	す	し
	い	る	ら	。	は
	い	と	、		、
	か	、	坂		自
	ら	楽	道		転
	で	だ	を		車
	す。	し	自		で

〈歩きの解答例〉

	う	な	か		き	
	だ	下	る	な	ま	わ
	か	り	け	ぜ	す	た
	ら	坂	れ	な	。	し
	で	で	ど	ら		は
	す	歩	、	、		、
	。	き	ゆ	時		歩
		や	る	間		き
		す	や	は		で
		そ	か	か		行

正解の判断については、  
 ・ 一段落目には、歩き・自転車・バスのうち、いずれか一つを選んで書いていること。  
 ・ 二段落目には、三つの方法の特徴を理解した上で、選んだ理由を四行以上六行以内で書いていること。

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

## 【「読むこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

あめだまは、もう一つしかありませんでした。  
 「あたしにちょうだい。」「あたしにちょうだい。」  
 ふたりの子どもは、りょうほうからせがみました。あめだまは一つしかないので、お母さんはこまってしまいました。  
 「いい子たちだから待っておいで、向こうへついたら買ってあげるからね。」  
 と言って聞かせても、子どもたちは、ちょうだいよ、ちょうだいよ、とだだをこねました。いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱっちり目をあけて、子どもたちがせがむのを見ていました。お母さんは、おどろきました。いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない、と思いました。  
 「おとなしくしておいで。」  
 と、お母さんは子どもたちをなだめました。けれど、子どもたちはききませんでした。すると、さむらいが、すらりと刀をぬいて、お母さんと子どもたちのまえにやってきました。お母さんは、まさおになって、子どもたちをかばいました。いねむりのじゃまをした子どもたちを、さむらいがきりころすと思ったのです。  
 「あめだまを出せ。」  
 とさむらいはいいました。  
 お母さんは、おそろおそろあめだまをさしだしました。さむらいは、それをふねのへりにのせ、刀でぱちんと二つにわりました。そして、  
 「そおれ。」  
 と二人の子どもに分けてやりました。

(出典 新美南吉 「飴だま」)

(1) どうして、お母さんは子どもたちをなだめたのですか。

レベル6

- 1 子どもたちにあめだまをあげたかったから。
- 2 さむらいが、いねむりをじゃまされたのでおこっていると思ったから。
- 3 さむらいが、あめだまを刀でぱちんと二つにわったから。
- 4 子どもたちがあそびたいといったから。

(2) 何を二人の子どもに分けたのですか。四字で書きましょう。

レベル7






# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

## 【「読むこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

## 模範解答

あめだまは、もう一つしかありませんでした。  
 「あたしにちょうだい。」「あたしにちょうだい。」  
 ふたりの子どもは、りょうほうからせがみました。あめだまは一つしかないの、お母さんはこまってしまいました。

「いい子たちだから待っておいで、向こうへついたら買ってあげるからね。」  
 と言って聞かせても、子どもたちは、ちょうだいよ、ちょうだいよ、とだだをこねました。いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱっちり目をあけて、子どもたちがせがむのを見ていました。お母さんは、おどろきました。いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない、と思いました。

「おとなしくしておいで。」  
 と、お母さんは子どもたちをなだめました。けれど、子どもたちはききませんでした。すると、さむらいが、すらりと刀をぬいて、お母さんと子どもたちのまえにやってきました。お母さんは、まっさおになって、子どもたちをかばいました。いねむりのじゃまをした子どもたちを、さむらいがきりころすと思ったのです。

「あめだまを出せ。」  
 とさむらいはいいました。  
 お母さんは、おそろおそろあめだまをさしました。さむらいは、それをふねのへりにのせ、刀でぱちんと二つにわりました。そして、  
 「そおれ。」

と二人の子どもに分けてやりました。(出典 新美南吉 「飴だま」)

(1) どうして、お母さんは子どもたちをなだめたのですか。

レベル6

- 1 子どもたちにあめだまをあげたかったから。
- 2 さむらいが、いねむりをじゃまされたのでおこっていると思ったから。
- 3 さむらいが、あめだまを刀でぱちんと二つにわったから。
- 4 子どもたちがあそびたいといったから。

2

「おとなしくしておいで。」と、なぜ、お母さんが子どもたちをなだめたのかは、直前の文「いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない」に着目して考えます。



(2) 何を二人の子どもに分けたのですか。四字で書きましょう。

レベル7

あ  
め  
だ  
ま

さむらいが、刀で二つにわったものが、何かを読み取ります。  
直前の「それをふねのへりにのせ」の「それ」が指し示している言葉を  
さがします。

# 復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

## 【「言葉」を問う問題】

- 1 次の \_\_\_\_\_ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、えらんで書きましょう。

レベル7

手紙を書こうとしたが、なかなか言葉が思いつかず、白紙のままだ。

音・訓

- 2 次の文の主語には \_\_\_\_\_ を、述語には \_\_\_\_\_ を引きましょう。

レベル6

(1) みさきさんが 手紙を 書いた。

(2) きょう、赤い チューリップの 花が きれいに さいた。

(3) 今日の 給食の カレーは、 いつもより 具が 大きくて おいしかった。

- 3 次の文の \_\_\_\_\_ の言葉を国語辞典で調べます。国語辞典にのっている形をえらんで、( ) に○をつけましょう。

レベル7

(1) 今日は のどがいたので、部屋の中で 本を読もう。

( ) 読もう ( ) 読んだ ( ) 読む

(2) 自分で育てた ミニトマトの実が 赤くなった。

( ) 赤い ( ) 赤 ( ) 赤く



4

――の言葉と反対の意味の言葉を漢字で書きましょう。

レベル2

(1) 今日は、とても寒い。

□

(2) 予想が当たる。

□

5

次の文の――は、何を指していますか。文章中より書きぬきましよう。

レベル7

家に帰ると、テーブルの上に、ケーキがのっていた。わたしは、それを食べてから、遊びに出かけた。

□

6

次の□に当てはまる文と文をつなぐ言葉を□からえらんで書きましよう。

レベル2

(1) 次は、ジェットコースターにのりますか。のりますか。

□

、コーヒーカップに

(2) 今日のサッカーのしあいは、負けると思っていた。

□

、三点差さんてんさで

勝つことができた。

(3) 友だちはピアノがひける。

□

、ギターもひける。

だから      それとも      しかも      でも



# 復習シート 第四学年 国語

模範解答



組
番号
名前

音読み：発音を聞いて、意味がわからないもの  
訓読み：発音を聞いて、意味がわかるもの

## 【「言葉」を問う問題】

- 1 次の \_\_\_\_\_ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、えらんで書きましょう。

レベル7

手紙を書こうとしたが、なかなか言葉が思いつかず、白紙のままだ。

はくし

音・訓

音

主語とは、文のなかで「だれが（は）」に当たる言葉で、述語は、文章の中で「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる・ない」に当たる言葉です。

- 2 次の文の主語には \_\_\_\_\_ を、述語には \_\_\_\_\_ を引きましょう。

- (1) みさきさんが 手紙を 書いた。
- (2) きのう、赤い チューリップの 花が きれいに さいた。
- (3) 今日の 給食の カレーは、いつもより 具が 大きくて おいしかった。

- 3 次の文の \_\_\_\_\_ の言葉を国語辞典で調べます。国語辞典にのっている形をえらんで、（ ）に○をつけましょう。

- (1) 今日は のどがいたいので、部屋の中で 本を読もう。

レベル7

- ( ) ( ) 読もう ( ) ( ) 読んだ ( ) ( ) 読む

- (2) 自分で育てた ミニトマトの実が 赤くなった。

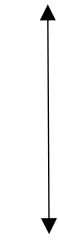
- ( ) ( ) 赤い ( ) ( ) 赤 ( ) ( ) 赤く

いろいろな形を変える言葉は、言い切りの形で国語辞典にのっています。

4 | の言葉と反対の意味の言葉を漢字で書きましょう。

レベル2

(1) 今日は、とても寒い。



暑い

(2) 予想が当たる。



外れる

5 次の文の | は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。

レベル7

家に帰ると、テーブルの上に、ケーキがのつていた。わたしは、それを食べてから、遊びに出かけた。

「それ」に「食べる」が続くため、食べたものは、  
ケーキです。

ケーキ

6 次の | に当てはまる文と文をつなぐ言葉を | からえらんで書きましょう。

レベル2

前のものと、あとのものからえらぶときに使います。

(1) 次は、ジェットコースターにのりますか。  
のりますか。

それとも

、コーヒーカップに

(2) 今日のサッカーのしあいは、負けると思っていた。  
勝つことができた。

でも

、三点差で

前の内容と反対のことや、前の部分から予想できない内容が続くときに使います。

(3) 友だちはピアノがひける。

しかも

、ギターもひける。

前のことに、あとのことをつけ加えるときに使います。

だから それとも しかも でも

